

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 0068 )

事務事業名称	文化・芸術の振興	款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	071
現担当課名	文化・交流課	係名	文化振興担当係					連絡先電話番号	3782	昨年度整理番号	073
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	既定事業		
事業開始		実行計画事業	目標	05	施策	30	計画事業	01	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )	
令和 3年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般		

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 ( 2 ) 杉並区新しい芸術鑑賞様式助成金交付要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発に行われている。	活動指標	指標名 ( 1 ) 日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数 指標説明 指標名 ( 2 ) 文化芸術活動助成金事業件数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用 ( 企画展や区民貸出し ) 等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 区民や区内団体が行う文化・芸術活動について、助成金等を通して支援する。	指標説明	成果指標
			指標名 ( 1 ) 日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の参加者数 指標説明 指標名 ( 2 ) 文化芸術活動助成金事業の参加者数 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	36	32	38	43	35	42	81.4	91.4	
活動指標 ( 2 )	2 件	18	600	574	75	76	25	101.3		
成果指標 ( 1 )	3 人	9,967	12,000	6,089	9,700	8,428	9,700	86.9		
成果指標 ( 2 )	4 人	5,557	360,000	374,287	45,000	73,348	15,000	163.0		
事業費	5 千円	54,719	286,821	248,076	104,425	95,409	56,616	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	12,175	10,465	9,044	11,203	10,179	8,595			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	3.21	3.00	3.68	3.50	4.04	4.00		
	上記以外の職員	9 人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	27,985	26,154	31,291	29,761	33,706	33,372		
	上記以外の職員	11 千円	9,240	9,240	10,884	10,884	11,025	11,025		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	91,944	322,215	290,251	145,070	140,140	101,013			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	2,554,000	10,069,219	7,638,184	3,373,721	4,004,000	2,405,071			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	156,110	0	7,000	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	1,000	1,000	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	435	10,620	1,203	10,620	1,253	10,620		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	435	11,620	158,313	10,620	8,253	10,620		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	91,509	310,595	131,938	134,450	131,887	90,393			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 071

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	すぎなみアート応援事業 ( 文化・芸術の場の支援 ) の実施	98	件	14,700
	すぎなみアート応援事業 ( 文化・芸術活動の支援 ) の実施	76	件	26,626
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施	35	回	23,910
	杉並公会堂利用料の支出 ( 延べ日数 )	46	日	12,833
	その他 ( 協働事業の実施、情報紙の発行ほか )			17,340
事業実績	<p>令和2年度に引き続き、コロナ禍における区内の文化・芸術の場と活動を一体的に支援する「すぎなみアート応援事業」の第2弾を実施し、場への支援98件 ( 達成率98% )、活動への支援76件 ( 達成率101% )、日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団・杉並公会堂・区の3者による実行委員会形式の演奏会を8回、区役所ロビーコンサートを4回、学校への出張音楽教室を11回開催するなど、計35回の事業を実施しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携 ( 平成6年度締結 ) に基づき、杉並公会堂におけるコンサートや公開リハーサル等の提携事業を継続して行い、令和2年以降のコロナ禍も含め、多くの区民に文化・芸術に親しむ機会を提供してきました。</p> <p>文化・芸術情報紙「コミュかる」を平成24年5月より年6回発行し、区内の文化・芸術に関する情報や杉並芸術会館、杉並公会堂でのイベント情報等をわかりやすく区民に提供するとともに、仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」を令和2年10月に開設し、杉並の文化・芸術を国内外に発信しています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和4年度からの新総合計画における施策指標である「過去1年間に1回以上、文化・芸術鑑賞した区民の割合 ( オンライン配信含む )」を令和6年度に72%まで引き上げていく目標達成に向け、区内事業者及び文化・芸術実践者に対する支援を通じて、多様な文化・芸術活動を展開し、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に文化・芸術に親しめる環境を整えていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数及び参加者数は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の計画 ( 目標値 ) のいずれも80%台となりましたが、感染症対策を講じながら着実に事業を実施した結果、参加者数は前年度比38%増となりました。</p> <p>文化芸術活動助成金事業件数については、第1期募集で当初想定50件を大きく上回る162件の応募があったことから、補正予算 ( 9月 ) で25件分を追加し計3回の募集を行う等、事業者の需要に適時適切に対応した結果、目標値の101%となる76件の助成を実施しました。当該事業への参加者数については、ライブとオンライン配信を複合的に実施する等の事業者の創意工夫もあり、目標値の163%と大幅に上回りました。</p>
評価と課題	<p>令和2年度に引き続き、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍における区内の文化・芸術の場と活動を一体的に支援する「すぎなみアート応援事業 ( 第2弾 )」を実施し、感染症対策を講じながら事業を継続する事業者の支援 ( 場の支援98件、活動の支援76件 ) を通じて、区民が安心して多様な文化・芸術に触れる機会を確保しました。</p> <p>令和4年度においても、区民や区内に拠点を持つ団体が行う文化・芸術活動を助成金を通じて支援するとともに、日本フィルハーモニー交響楽団による友好提携事業や区制施行90周年記念曲の演奏・配信、仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の運営・発信等を通じて、文化・芸術活動の活性化を図っていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>現時点では、令和4年度予算と同規模の事業費等により、文化・芸術の振興を図っていく考えですが、コロナ禍等による影響について、引き続き注視していく必要があります。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00073 )

事務事業名称	杉並芸術会館の維持管理			款	03	項	01	目	03	事業	003	整理番号	076
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	078		
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成15年度												
令和 3年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立杉並芸術会館条例 ( 2 ) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。区民との協働により施設を運営し、地域のにぎわいの創出など、地域の振興を図る。	活動指標	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 総利用数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	指標説明	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数
		成果指標	ホール利用率
		指標説明	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数 ÷ 稼働可能数
		指標説明	公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	1,859	1,675	848	2,010	1,388	1,800	69.1	98.4	
活動指標 ( 2 )	2 回	411	458	281	380	307	400	80.8		
成果指標 ( 1 )	3 %	79	67	52	72	68	75	94.4		
成果指標 ( 2 )	4 人	60,000	67,000	27,000	50,000	54,000	60,000	108.0		
事業費	5 千円	332,469	351,007	341,642	324,495	319,297	362,913	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	309,973	330,358	324,230	299,549	299,542	305,656			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.11	1.50	1.24	1.50	1.75	2.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	9,677	13,077	10,544	12,755	14,600	16,686		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	342,146	364,084	352,186	337,250	333,897	379,599			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	184,048	217,364	415,314	167,786	240,560	210,888			
財源	受益者負担分	14 千円	5	9	7	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	6,149	13,000	10,967	13,000	8,056	12,000		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	6,154	13,009	10,974	13,000	8,056	12,000		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	335,992	351,075	341,212	324,250	325,841	367,599			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 076

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	管理運営 ( 指定管理者 )	1	施設	300,799
	芸術監督報酬の支出	12	月	4,200
	運営懇談会開催	3	回	149
	施設管理	12	月	6,037
	その他 ( 文化芸術創造拠点形成事業の支出、地域協議会開催 )			8,112
事業実績	<p>杉並芸術会館 ( 座・高円寺 ) の指定管理業務 ( 施設維持管理、芸術文化普及振興事業 ) については、指定管理者及び芸術監督が連携・協力し、国等の感染症対策ガイドラインに沿った対策を講じながら実施した結果、ホール利用率は68% ( 令和2年度比16%増 ) に改善し、区立小学生の演劇鑑賞教室 ( 参加者数1,254名 ) や演劇学校受講生の受入れ ( 13名 ) を再開する等、平常時の事業展開に戻りつつあります。また、区民や学識経験者等で構成される運営懇談会を計3回開催し、令和3年度の活動実績や令和4年度の事業計画に関する意見交換等を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>【来館者数】平成21年度 ( 開館時 ) : 215,780人 令和元年度 : 175,394人 令和2年度 : 80,974人 令和3年度 : 132,961人 年平均 ( 開館以降 ) : 約185,000人</p> <p>【主な施設】指定管理者による主催・提携事業で使用する座・高円寺1、区民等が演劇・講演等で使用する座・高円寺2、区とのパートナーシップ協定に基づき阿波おどり振興協会が優先利用するホール</p> <p>座・高円寺は、平成21年5月の開館以来、舞台芸術の創造と発信及び地域に根差した文化活動の拠点として運営しており、平成26年度に地域創造大賞を受賞するなど、高円寺4大祭りを中心とした地域との連携を深め、まちのにぎわいや経済活性化に寄与しています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和4年度からの新総合計画における施策指標である「過去1年間に1回以上、文化・芸術鑑賞した区民の割合 ( オンライン配信含む ) 」を令和6年度に72%まで引き上げていく目標に向け、芸術監督や指定管理者と共に、芸術文化普及振興事業の参加者数を増やしていく取組を進めていきます。その取組の一環として、座・高円寺では、障害者を含む多様な出演者がパントマイム等の身体表現を通して、多様性の理解を深める新たな事業を令和4年度から段階的に実施していくこととしています。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>国等の新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、施設利用率は前年度に比べ、座・高円寺2は16%増、阿波おどりホールは17%増となり、合計で68% ( 目標値比94% ) となりました。</p> <p>また、芸術文化普及振興事業も感染症対策を講じながら積極的に事業を実施したことから、事業数は前年度比9%増の307回 ( 目標値比81% ) 、参加者数は前年度比100%増の約54,000人 ( 目標値比108% ) となりました。</p>
評価と課題	<p>コロナ禍においても、芸術監督と指定管理者が連携・協力し、感染症対策を講じながら、質の高い舞台芸術を区民等に提供し、約54,000人の参加がありました。令和4年度は、ホール利用率や芸術文化普及振興事業参加者数をコロナ禍前まで回復することを目指し、感染症対策を講じつつ、区民等が安心して利用できるホール運営と優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に取り組みます。</p> <p>また、杉並芸術会館に関する住民監査請求に対する監査結果 ( 6月 ) において、指定管理業務収支報告書の科目名誤表記や助成金の一部未計上等が指摘されたことを受け、区として指定管理者を指導し、過年度分を含めて適切に修正されたことを確認しました。今後は、指定管理者と区双方の職員による確認体制をより一層強化し、再発防止を図っていきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>区は、令和5年度においても、芸術監督と指定管理者による座・高円寺がより一層公共劇場としての役割を果たしていくよう、連携・協力していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00075 )

事務事業名称	杉並公会堂 ( P F I 事業 )			款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	078
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係			連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	080		
上位施策No・施策名	30 文化・芸術の振興							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成18年度												
令和 3年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	( 1 ) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 ( 2 ) 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区民への良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化・芸術活動を気軽に行える場とする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	自主事業実施回数  ホール・スタジオ等の利用件数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や能力を活用した P F I 手法により運営する。 公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を実施する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	24	32	17	24	23	32	95.8	99.7	
活動指標 ( 2 )	2 件	22,430	21,000	9,991	12,000	16,221	23,000	135.2		
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	807,761	823,991	821,896	831,264	828,628	829,431	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	802,911	823,991	821,896	822,795	820,160	829,431			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	0.60	0.50	1.05	1.00	1.04	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	5,231	4,359	8,928	8,503	8,677	8,343		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	812,992	828,350	830,824	839,767	837,305	837,774			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13 円	33,874,667	25,885,938	48,872,000	34,990,292	36,404,565	26,180,438			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	634	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	634	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	812,992	828,350	830,190	839,767	837,305	837,774			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 078

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	施設サービス購入	2	回	374,595
	維持管理・運営サービス購入	4	回	445,521
	その他（事業者連絡会開催、維持管理・運営への補填ほか）			8,512
事業実績	<p>杉並公会堂では、区、日本フィル及びPFI事業者の三者による実行委員会方式の協働事業である日本フィル杉並公会堂シリーズを4回行うなど、計23回の自主公演を実施しました。また、区民等が安全・安心な環境で文化芸術に親しめるよう、国や全国公立文化施設協会のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、施設全体の利用者数について、令和2年度には58,721人であったところ、令和3年度には141,219人まで回復しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>杉並の文化拠点として、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、区民の文化・芸術活動や多様な活動の場を安定的に提供し、杉並公会堂における稼働率の前年度比は、大ホール46%増、小ホール18%増、グランサロン40%増、スタジオ23%増となり、全体で31%増となる等回復基調にあります。今後、令和6年1月から8月までの間、施設の大規模改修を予定しているため、利用者への周知を徹底するとともに改修工事が滞りなく実施されるよう、引き続きPFI事業者との連絡調整を綿密に行っていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並公会堂は、PFI事業を活用して約33年間（平成15年～令和18年）に渡り、PFI杉並公会堂株式会社と「杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書」を締結しています。PFI事業導入の効果として、区が設計・建設・運営・維持管理を一括して特定事業者委ねることにより、区が直接行う場合に比べ財政支出を抑制することができます。引き続きこの制度を安定的に運営していくことで、区の財政支出の抑制を図っていきます。</p>	